



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月14日

上場会社名 三光産業株式会社
コード番号 7922 URL <https://www.sankosangyo.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井 正和

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部長 (氏名) 阿部 雅弘

TEL 03-3403-8134

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	7,678	6.0	9	91.4	85	32.8	73	59.1
2022年3月期第3四半期	7,246	5.5	109		127		180	

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 312百万円 (78.4%) 2022年3月期第3四半期 175百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	11.90	
2022年3月期第3四半期	29.10	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	11,428	7,986	69.9
2022年3月期	11,843	7,717	65.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 7,986百万円 2022年3月期 7,717百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		7.00	7.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,731	1.4	55	47.9	62	46.8	60	67.1	9.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	7,378,800 株	2022年3月期	7,378,800 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,185,873 株	2022年3月期	1,185,873 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	6,192,927 株	2022年3月期3Q	6,192,930 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2022年4月1日～2022年12月31日）における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和し、緩やかな回復基調がみられるものの、ウクライナ情勢の長期化や世界的なインフレの加速、為替市場の急激な変動などにより、景気動向については不安定な状況が続いております。

印刷業界においては、日本国内において印刷需要が減少する中、受注競争による単価の下落、サプライチェーンの混乱、また海外においても現地企業との受注競争の激化等、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと当社グループは、新型コロナウイルス感染症の収束長期化に加え、為替市場の急激な変動や原材料高騰等により業績の見通しが立たない中、売上拡大と新基幹システム構築による効率化の推進により収益の改善に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,678百万円（前年同期比106.0%）となりました。

利益面につきましては、売上原価、販売費及び一般管理費の削減に努めましたが、子会社株式の取得費用を計上した結果、営業利益は9百万円（前年同期は109百万円の営業利益）となりました。また、受取配当金及び為替差益の計上により経常利益は85百万円（前年同期は127百万円の経常利益）となり、固定資産売却益を8百万円及び固定資産処分損を6百万円計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は73百万円（前年同期は180百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

① 日本

パネル関連製品の幅広い営業展開と、シール・ラベル製品の受注確保のため既存取引先の深耕のほか日用品関連等の新規分野への営業展開を積極的に行い、製造面については、歩留率の改善等による効率化を重点的に進めてまいりました。

主として電気機器関連のラベル・ステッカー関連製品が増収となったことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,741百万円（前年同期比103.9%）となりました。また、利益面については、販売費及び一般管理費の削減に努めたものの、セグメント損失は51百万円（前年同期は6百万円のセグメント損失）となりました。

日本セグメントに所属する連結子会社は、株式会社トムズ・クリエイティブ、株式会社アクシストラス及び株式会社ベンリナーであります。

② 中国

中国セグメントにつきましては、連結子会社燦光電子（深圳）有限公司について、2019年8月に製造工場を閉鎖し、販売会社として国内の営業部門及び生産提携先との連携を強化し、中国市場における業績の安定化を目指して積極的な営業展開を継続いたしました結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,479百万円（前年同期比136.6%）となり、セグメント利益は62百万円（前年同期は36百万円のセグメント利益）となりました。

なお、中国セグメントに所属する連結子会社は、光華産業有限公司及び燦光電子（深圳）有限公司であります。

③ アセアン

アセアンセグメントに所属する連結子会社サンコウサンギョウ（マレーシア）SDN. BHD.、サンコウサンギョウ（バンコク）CO., LTD.及びサンコウサンギョウ（ベトナム）CO., LTD.につきましては、日本国内外からの営業面・製造面の支援を受け、積極的な営業活動及び製造工程の改善等を図っております。

しかしながら、2021年12月にマレーシアにて発生しました洪水被害及び新型コロナウイルス感染症の収束長期化による活動制限の影響を大きく受け、電気機器関連のシール・ラベル分野において受注減となり、当第3四半期連結累計期間の売上高は457百万円（前年同期比71.7%）となりました。利益面においては、製造原価、販売費及び一般管理費の削減に努めたものの、セグメント利益は0百万円（前年同期は67百万円のセグメント利益）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は11,428百万円となり、前連結会計年度末比414百万円減少いたしました。これは、主に受取手形、売掛金及び契約資産が206百万円、商品及び製品が176百万円、のれんが304百万円増加いたしました。現金及び預金が1,200百万円、その他流動資産が567百万円減少したことによるものであります。

負債総額は3,442百万円となり、前連結会計年度末比683百万円減少いたしました。これは、主に長期借入金が37百万円、短期借入金が447百万円、支払手形及び買掛金が190百万円減少したことによるものであります。

また、純資産総額は7,986百万円となり、前連結会計年度末比269百万円増加いたしました。これは、親会社株主に帰属する当期純利益73百万円を計上したこと及び為替換算調整勘定が278百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は69.9%（前連結会計年度末は65.2%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想については、当社グループを取り巻く景況感は概ね想定範囲内であることから、現時点では2022年5月16日に公表しました業績予想に変更はありません。

今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,949,726	1,749,185
受取手形、売掛金及び契約資産	2,484,869	2,690,952
電子記録債権	906,523	946,924
商品及び製品	703,493	879,715
仕掛品	44,673	80,452
原材料及び貯蔵品	171,933	218,190
その他	921,616	354,169
貸倒引当金	△668	△639
流動資産合計	8,182,167	6,918,950
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,657,660	2,800,962
減価償却累計額	△1,846,366	△1,918,979
建物及び構築物（純額）	811,293	881,982
機械装置及び運搬具	2,313,472	2,473,110
減価償却累計額	△2,015,838	△1,926,308
機械装置及び運搬具（純額）	297,633	546,801
工具、器具及び備品	230,285	239,299
減価償却累計額	△196,044	△173,978
工具、器具及び備品（純額）	34,240	65,321
土地	1,281,015	1,484,232
リース資産	58,298	57,232
減価償却累計額	△47,490	△51,107
リース資産（純額）	10,807	6,124
建設仮勘定	-	29,520
有形固定資産合計	2,434,990	3,013,982
無形固定資産		
のれん	-	304,223
ソフトウェア	179,684	157,217
ソフトウェア仮勘定	2,700	-
その他	-	272
無形固定資産合計	182,384	461,713
投資その他の資産		
その他	1,067,641	1,059,473
貸倒引当金	△24,016	△25,179
投資その他の資産合計	1,043,624	1,034,293
固定資産合計	3,661,000	4,509,989
資産合計	11,843,168	11,428,940

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,521,454	1,331,188
電子記録債務	760,646	788,410
短期借入金	932,774	485,000
未払法人税等	44,650	1,775
賞与引当金	92,325	64,344
災害損失引当金	96,569	89,651
その他	181,009	257,981
流動負債合計	3,629,429	3,018,351
固定負債		
長期借入金	300,000	262,800
退職給付に係る負債	120,076	111,133
繰延税金負債	58,416	36,025
その他	17,956	14,050
固定負債合計	496,449	424,009
負債合計	4,125,879	3,442,360
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,850,750	1,850,750
資本剰余金	2,277,951	2,277,951
利益剰余金	4,323,858	4,354,213
自己株式	△1,013,873	△1,013,873
株主資本合計	7,438,687	7,469,041
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	445,385	405,967
為替換算調整勘定	△166,783	111,570
その他の包括利益累計額合計	278,601	517,537
純資産合計	7,717,288	7,986,579
負債純資産合計	11,843,168	11,428,940

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	7,246,557	7,678,175
売上原価	5,845,919	6,202,574
売上総利益	1,400,638	1,475,600
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	639,458	614,817
賞与引当金繰入額	28,915	28,942
退職給付費用	39,275	36,451
福利厚生費	112,947	109,942
その他	470,730	676,008
販売費及び一般管理費合計	1,291,327	1,466,161
営業利益	109,311	9,439
営業外収益		
受取利息	1,490	1,944
受取配当金	20,681	23,831
貸倒引当金戻入額	255	-
為替差益	7,547	60,750
その他	2,977	6,930
営業外収益合計	32,951	93,457
営業外費用		
支払利息	14,241	5,432
寄付金	-	11,211
その他	83	261
営業外費用合計	14,325	16,905
経常利益	127,937	85,991
特別利益		
固定資産売却益	55,645	8,647
特別利益合計	55,645	8,647
特別損失		
固定資産処分損	707	6,744
特別損失合計	707	6,744
税金等調整前四半期純利益	182,875	87,895
法人税、住民税及び事業税	10,032	11,897
法人税等調整額	△7,423	2,292
法人税等合計	2,608	14,190
四半期純利益	180,266	73,705
親会社株主に帰属する四半期純利益	180,266	73,705

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）
四半期純利益	180,266	73,705
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31,332	△39,418
為替換算調整勘定	△36,318	278,354
その他の包括利益合計	△4,985	238,936
四半期包括利益	175,280	312,641
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	175,280	312,641
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間より、株式会社アクシストラスの全株式を取得したことにより、連結の範囲に含めております。また、当第3四半期連結会計期間より、株式会社ベンリナーの全株式を取得したことにより、連結の範囲に含めております。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

なお、当該会計基準適用指針の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（追加情報）

（表示方法の変更）

前連結会計年度より、従来「販売費及び一般管理費」、「営業外収益」及び「営業外費用」に計上しておりました不動産関連の収益及び費用を、「売上高」及び「売上原価」に計上する方法に変更しております。

これは、当社グループの賃貸収入は収入源の一つであり、事業運営の実態をより適切に表示するために行ったものであります。

この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っており、「営業外収益」の「受取賃貸料」11,204千円及び「その他」7千円は「売上高」に、「販売費及び一般管理費」の「その他」2,284千円及び「営業外費用」の「賃貸建物減価償却費」165千円は「売上原価」に組替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	日本	中国	アセアン	合計
売上高				
外部顧客への売上高	5,525,724	1,082,645	638,188	7,246,557
セグメント間の内部売上高 又は振替高	792,940	936,458	12,897	1,742,296
計	6,318,664	2,019,104	651,085	8,988,854
セグメント利益又は損失（△）	△6,339	36,670	67,711	98,043

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	98,043
セグメント間取引消去	11,268
四半期連結損益計算書の営業利益	109,311

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	日本	中国	アセアン	合計
売上高				
外部顧客への売上高	5,741,256	1,479,086	457,832	7,678,175
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,059,976	933,208	5,088	1,998,273
計	6,801,232	2,412,295	462,921	9,676,449
セグメント利益又は損失(△)	△51,183	62,900	402	12,119

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	12,119
セグメント間取引消去	△2,679
四半期連結損益計算書の営業利益	9,439

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「日本」セグメントにおいて、「株式会社バンリナー」の全株式を取得したことにより、当第3四半期連結会計期間に発生したのれんの額は148,321千円であります。

なお、のれんの金額は、企業結合日における識別可能な資産及び負債の特定並びに時価の算定が未了であり、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

表示方法の変更に記載のとおり、前連結会計年度より表示方法の変更を行っております。前第3四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、変更後の数値を用いて作成したものを記載しております。

（重要な後発事象）

（連結子会社の清算終了）

2020年7月14日開催の取締役会において、解散及び清算を決議いたしました当社の連結子会社でありますサンコウサンギョウ（ベトナム）CO., LTD. について、現地の法令に基づいた手続きがすべて完了し、2023年2月6日に清算が終了いたしました。

1. 解散及び清算の理由

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、得意先様からの需要の減少等、事業環境は非常に厳しいものとなり、安定的な収益を確保することが困難であると判断したためであります。

2. 子会社の概要

① 名称	サンコウサンギョウ（ベトナム）CO., LTD.
② 所在地	ベトナム社会主義共和国ハノイ市
③ 代表者の役職・氏名	清算代表人 小川雅也
④ 資本金	265千US\$
⑤ 事業内容	ラベル・パネル等の販売
⑥ 出資比率	当社 100%

3. 清算終了日

2023年2月6日

4. 当該清算による損益への影響

当該解散及び清算に伴う連結業績に与える影響は軽微であります。

5. 当該清算による営業活動等への影響

当該解散及び清算に伴う当社グループの営業活動等への影響はありません。